

講義名	解剖学実習
開講学年	2
単位	1

授業の達成目標	体の構造をイラストを通じて理解してもらおう。各器官の働き、特徴を踏まえ、臨床栄養学に通ずる内容の理解を目標とする。
授業の概要	塗り絵で体の器官の構造、名称を理解する。
授業形式	講義

授業計画表

回	項目	内容	キーワード・備考
1	骨格系	骨格の役割と種類、筋肉の種類について	骨格・心筋・平滑筋
2	神経・感覚系	眼の構造と働きについて	網膜・水晶体・視神経
3	神経・感覚系	鼻の中の構造と働きについて	鼻腔・臭細胞
4	神経・感覚系	耳について(三半器管、蝸牛の働きや構造について)	三半器管・蝸牛・聴神経
5	呼吸器系	肺について(肺動静脈、肺泡、横隔膜の動きについて)	肺動静脈・肺泡・横隔膜
6	循環器系	心臓について(冠状動脈の働きや血液の循環の仕方について)	冠状動脈・心房・心室
7	消化器系	肝臓や胆のうの働きや構造について	肝臓・胆のう・門脈
8	消化器系	膵臓について(外分泌や内分泌の特徴や構造について)	膵臓・外分泌・内分泌・総胆管
9	消化器系	口腔や食道の働きや構造について	口腔・歯
10	消化器系	消化器系について(胃や小腸の働きや構造について)	胃・十二指腸・空腸・回腸
11	消化器系	消化器系について(大腸の働きや構造について)	盲腸・結腸・直腸・虫垂
12	泌尿器系	泌尿器系について(腎臓の働きや構造について)	糸球体・尿細管・腎盂
13	泌尿器系	泌尿器系について(膀胱や尿道の働きや構造について)	尿管・尿道・膀胱

14	生殖器系	生殖器系について(精巣や卵巣の働きや構造について)	卵巣・精巣
15	まとめ	解剖学実習まとめ	

事前・事後学習の内容	解剖学、生理学、臨床栄養学など関連する教科と並行して、予習・復習を行う
成績評価の方法	授業の出欠、学期末試験による総合判定 S・A+・A-・B+・B-・C+・C・Dで判定 (Dは不合格) (S：90点以上、A+：85～89点、A-：80～84点 B+：75～79点 B-：70～74点、C+：65～69点、 C：60～64点、D：59点以下)
参考書	ぬりえで学ぶヒトのからだ (ぱーそん書房)
教材	プリントの配布、色鉛筆